

2014 年 ORC レースにおける クルー重量に関する取り扱いについて 2014 年通達



主文

日本国内で主催される ORC レースの 2014 年 ORC Rating Rule 304.1 c) iii) 適用について以下のようにする。

実際のクルー重量に関しては証書の失効を伴う遵守事項ではないが、レース公示に他の定めを記載していない限り証書記載のクルー重量 (Rule200) が有効になる。主催者が ORC 証書を用いるレースにおいて証書に記載されるクルー重量制限を変更、解除して利用することを認めるが、レース公示にて明確に変更、新たに定める制限を記載しなければならない。変更、解除は主催者の意図と責任で行われ、クルー重量によって艇のパフォーマンスは大なり小なり変化することを理解した上で利用すること。

適用に関するガイド

1、この ORC Rule に関する国内規定は、レース主催者の特別な意思で“親睦を目的としたレース等に厳格なレースのために申告しているクルー重量を少し緩めて乗艇人数を増やしたい、証書精度は落ちますがそれを犠牲にしてもレースを活性化したい”などレース主催者に利用の自由度を与えることを目的にしますので全面的に ORC 証書からクルー重量制限を取り外した、ということではありません。

2、重量制限を変更、解除する場合は必ずレース公示で明記しなければなりません、

3、ただし無制限な解除は安全にかかわる事項であり主催者の安全配慮責任において変更され、最小限であるべきです、よって何らかの制限を設けてください。

4、クルー重量を厳密に運用すると主催者が意思を持つ場合は、レース公示または帆走指示書に重量違反はどんなペナルティーを課すのかを含め記載すべきです。その記載事項は例えば

a) レース前クルーウェイト測定を行うかどうか

b) クルー重量違反が出た場合、失格にするのかペナルティーを課すのか、

c) レース前重量測定を行わない場合、オーナーの測定誤差を何処まで認めるかについても何 Kg まで許容するか (例えば 10kg、15kg など) などです。

5、ORC 証書では 最大クルー重量はレーティング計算過程の一部に使われています、トリプルナンバー、パフォーマンスライン、PCS スコアリングなど より正確な修正時間を計算するスコアリングオプションを利用する場合は特に 最大クルー重量を変更 解除することは避けてください。

6、ORC-クラブ、ORC-Iいずれの証書についても同様とします、

日本 ORC 協会 平成 26 年 2 月 20 日 発行